



8月のほけんだより

令和6年8月発行
島こども園



雨が続き、じめじめした日が続いています。暑さも本番になる梅雨明けも間近でしょうか？そんな中でも、子どもたちは毎日元気に過ごしています。引き続き、体調の変化に気を配りながら、子どもたちの生活を見守っていきたいと思います。

食中毒を予防しよう

食中毒が発生しやすくなっています。子どもたちの健康を守るためにも、この時期はご家庭でも、いつもより衛生的に過ごすように心がけてください。

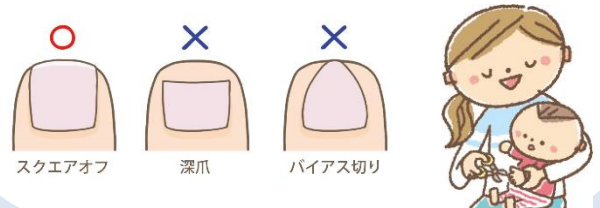
7月の罹患状況

発熱	11名	咳・のど・鼻の風邪	3名
溶連菌	3名	胃腸炎（嘔吐・下痢含む）	3名
腹痛	1名	体調不良	3名
通院	3名	コロナ感染症	1名

6月に比べ全体数は少なくなっていますが、市内では感染症が流行っているようです。予防のための手洗いおよび早期治療と発熱後は安静をお願いします。

《子どもの爪切りのポイント》 「チョコチョコ・チビチビ・スクエア」

- ◎スクエアに切る
- ◎指の皮膚より短く切らない
(白い部分を1mm程度残すくらいで)
- ◎5～10回に分けてチビチビカット
- ◎日にちを変えてチョコチョコ切る
- ◎爪が柔らかい時（お風呂後など）には切らない
- ◎一週間に一度は手足の爪のチェックをする



夏は気温が高く代謝が活発になるため、爪がいつもより伸びやすくなっています。爪が伸びていると思わぬケガや感染症のもとになりますので、切り方のポイントを押さえて正しくケアをお願いします。(牛)

とびひが増える季節です

とびひ（伝染性膿痂疹^{のうかしん}）は夏に多く見られます。虫に刺された跡を汚れた手でかくなどすると細菌（ブドウ球菌など）が感染し、そこで繁殖します。初期に水ぼうがができますが、すぐに破れてじゅくじゅくした状態になります。その部分を触った手で別の場所を触ると、そこにもとびひが広がります。



主な症状

- 皮膚に小指のつめくらいの水ぼうがができる
- 水ぶくれや、赤くじゅくじゅくした、ただれた状態になる
- 強いかゆみがある

家庭での手当て

- じゅくじゅくしている部分はガーゼで覆ってください。
- お風呂はシャワー程度にして、タオルも個別にしましょう。タオルを共有して感染することがあるからです。
- 完全に乾燥するまで感染力がありますから、乾燥するまではガーゼで覆い、プールは禁止になります。



感染力が強いので、医療機関を受診し、薬をもらってください

